

現状に関する認識(国内外レポジトリ関係)

- 学習/教育コンテンツの質という点ではまだまだ問題が残るが、(インターネット)全体としてみれば、すでに膨大な数のコンテンツが世界中のレポジトリに蓄積されつつある段階
- さまざまな利用者(教師、学習者、製作者など)、利用形態が出現し、こうした利用状況に応じた交換配信体制の整備が不可欠
- 教育分野には「オープンコンテンツ」では対応できないコンテンツがあるとの認識が拡大。有償のコンテンツや、無償でもアクセスコントロールが必要なケース。
 - ・ 新たな付加価値サービス
 - ・ さまざまなプレーヤー
 - 持続的なビジネスモデル

共有再利用を基本コンセプトとする教材: 学習オブジェクト Learning Objects

- Webに展開された電子教材・素材
- 典有・再利用を目的
- ある程度の大きさに分解することで文脈依存性を減じさせようとすること(モジュール、コンポーネントなど)
- メタデータを付加 (Dublin Core、LOM、SCORM)

[特に、開発的側面]

- まとまった資本、高度な開発技術を必ずしも必要としない
- 個人でも参加できる

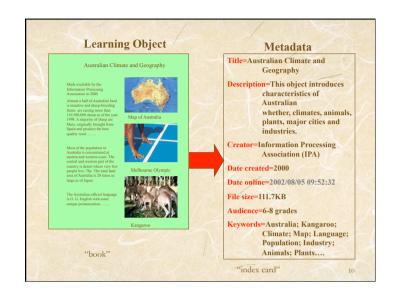
背景

- 教育における情報化の進展
- 学習コンテンツの急速な蓄積と偏在(南北格差)
- Web2.0などPersonalizationの進展
 - → 高品質なデジタル教材の不足
- 解決策の1つとしての、デジタル教材の流通・共有・ 再利用を促進するインフラと社会的合意の必要性
 - 教材のコンポーネント化と学習オブジェクト
 - コースウエアvs 素材型教材・素材
 - 商業コンテンツと「オープン・コンテンツ」
 - 大学の公開性と生涯学習

検索:見つけ出してもらう工夫

- 一般用キーワード検索
 - Google, Yahoo,
- ・メタデータ検索
 - 教育に特化した検索サービス
- →メタデータを付与(LOM、ダブリンコア)
- メタデータをレポジトリ、レファラトリに登録
- 次世代型検索
 - Ontology, Folksonomy,





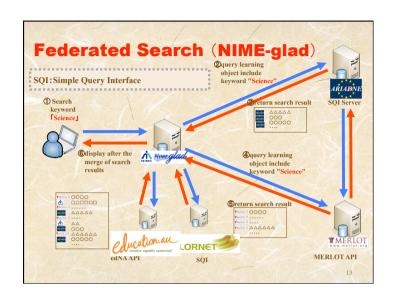


- ・学習コンテンツの国際的なブローカー
- ・「臨界量」到達のための1解決策
- ・ 学習/教育資源に特化
- · 全レベル Federated search and Harvesting

GLOBE

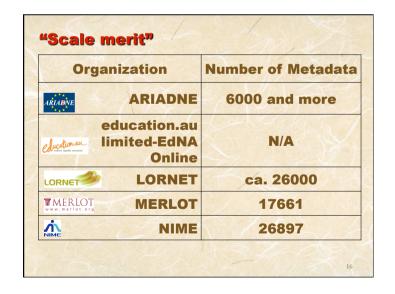
- ・国際標準化団体との連携
- ·scalableでinteroperableなインフラと持続可能なビジネスモデルの探索











メタデータ検索

- 新たな教育支援サービスあるいは教育ビジ ネスをもたらす可能性
 - 品質保証
 - 著作権処理
 - 利用情報· Recommendation
 - Localization
 - 権利関係
 - カリキュラム対応
 - 活用情報 実践事例提供
 - 多言語多文化対応

GI BF

GLOBE 2.0: Technologies and architecture

- LOM 2.0
- Federated search and Harvesting (OAI-PMH)
- **Federation of registries**
- **Digital Right Managements (DRM)?**
- Quality assurance?
- Metadata autotagging?

放送大学

OUJ-CODE: 国内向け新サービスの検討

- 名称变更
- 国内のレポジトリやレファラトリとの Federation
- ■国際的な流れを見据えた新付加価値サービ ス
 - 例、権利処理、質保証、学習/教育コミュニ ティ活動との連携
- ●公開教育と生涯学習における新たな枠組み

OUJ-CODE: 新検索システム が送大学



- メタデータ項目の拡張
 - さなざまな権利関係に対応
 - 品質評価
 - 利用者に向けた利用情報の提供
- 国内レポジトリとの連携
 - Harvesting
- ・カスタマイズ可能な検索エンジン



